

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【公表番号】特表 2005-538129 (P2005-538129A)

【公表日】平成 17 年 12 月 15 日 (2005.12.15)

【年通号数】公開・登録公報 2005-049

【出願番号】特願 2004-527183 (P2004-527183)

【国際特許分類】

**A 6 1 K 45/00 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/282 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/337 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/352 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/436 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/5377 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/704 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/7048 (2006.01)**  
**A 6 1 K 33/24 (2006.01)**  
**A 6 1 P 35/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 43/00 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 45/00  
 A 6 1 K 31/282  
 A 6 1 K 31/337  
 A 6 1 K 31/352  
 A 6 1 K 31/436  
 A 6 1 K 31/5377  
 A 6 1 K 31/704  
 A 6 1 K 31/7048  
 A 6 1 K 33/24  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 43/00 1 1 1  
 A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 28 日 (2006.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも一つの e r b B チロシンキナーゼについての阻害剤と、ジェムシタビン、パクリタキセル、ドセタキセル、シスプラチン、カルボプラチン、エトポシド、アドリアマイシン、トポテカン、C P T - 11、カベシタビン若しくはそれらの薬学的に許容しうる塩、または電離放射線から成る群より選択される少なくとも一つの抗腫瘍因子との治療方式での投与を含む、細胞増殖性疾患を処置する方法。